

北海道浮魚ニュース

平成 28(2016)年度 5 号

2016 年 6 月 15 日

道総研水産研究本部

釧路水産試験場

ホームページ:

<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- スルメイカの分布密度は前年より低い。
- 体サイズの主体は 15-17cm。

調査期間: 2016 年 6 月 7~13 日

調査海域: 道東太平洋 (北緯 41 度ライン周辺の 6 調査点*)

調査船: 北辰丸(釧路水産試験場所属)、イカ釣機 5 台装備

*荒天のため 1 調査点調査中止

1. 水温分布 (図 1)

調査点の表面水温は 14.4~15.5°C で、ほとんどの点で前年 (9.4~15.7°C) より高い値でした。同様に 50m 深水温も 6.7~15.6°C と前年 (3.6~13.0°C) より高い点が多くなっています。

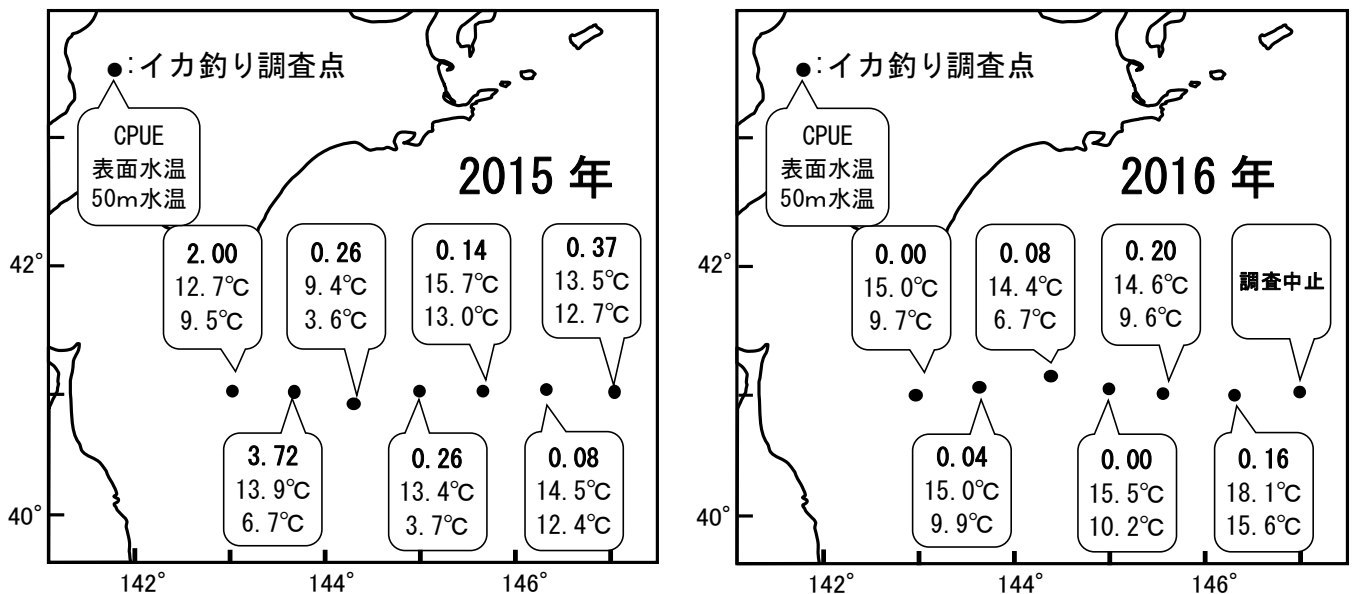


図 1 6 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と表面および 50m 深水温
(左図: 2015 年, 右図: 2016 年)

※分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。

2. 分布密度 (図 1、図 2)

6 調査点でスルメイカの分布密度を調べた結果、分布密度 (CPUE: イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 0.00~0.20 でした (図 1)。スルメイカは 4 調査点で漁獲があり、6 調査点の平均 CPUE は 0.08 と前年 (0.97) を下回りました (図 2)。

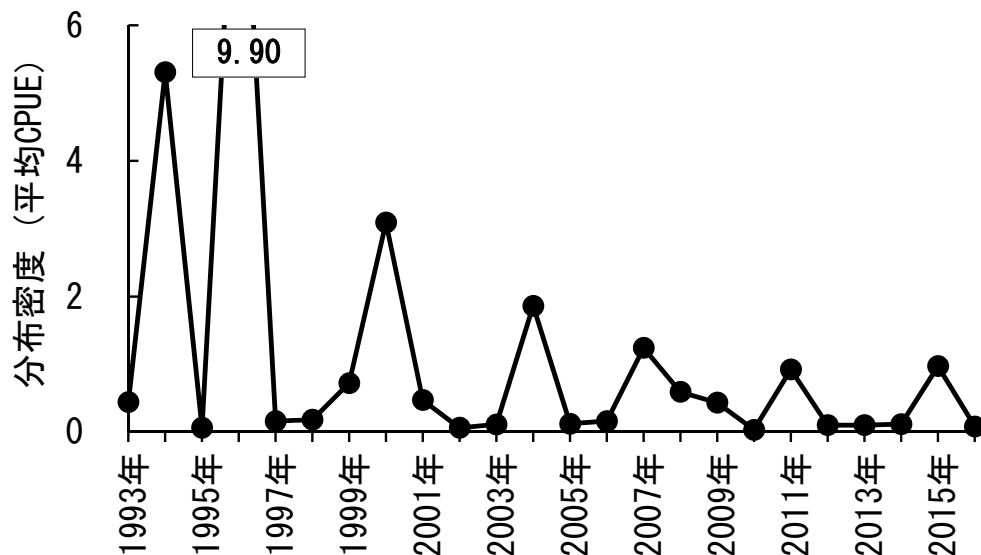


図2 スルメイカの分布密度の経年変化
 ※各年の分布密度は全調査点のCPUEの平均で示した。

3. スルメイカの大きさ (図3、表1)

スルメイカの外套長 (胴長) の範囲は14~18cm (前年: 13~20cm) にありました。明瞭なモード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) は見られず、15-17 cmの個体が同数で多くなっていました。

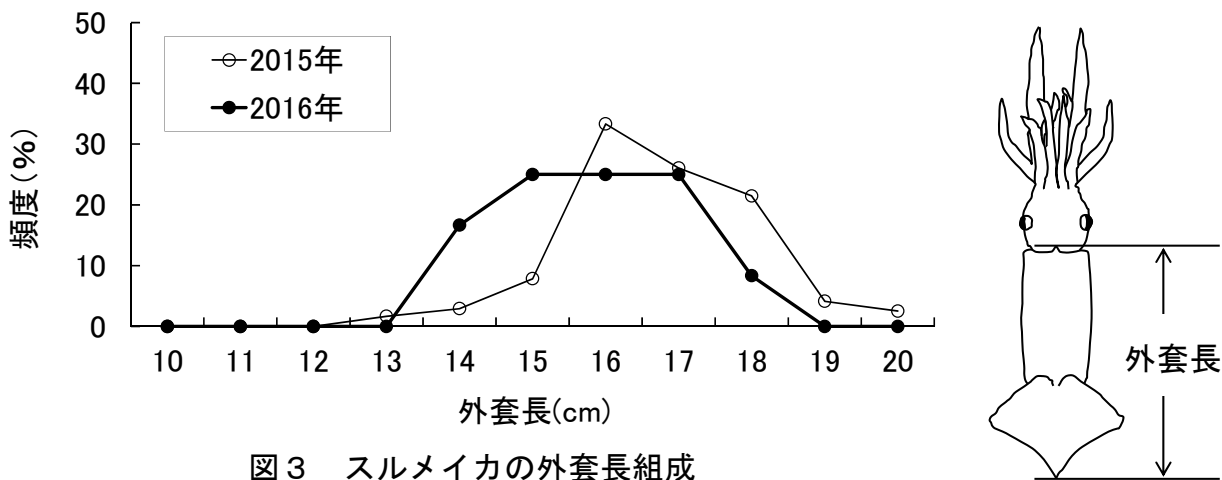


図3 スルメイカの外套長組成

表1 2009~2016年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長組成		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2007年 6/13~20	311	1.24	6-18	14	6
2008年 6/10~17	199	0.59	7-15	13	7
2009年 6/9~17	165	0.43	10-17	14	8
2010年 6/7~14	8	0.03	13-16	15	7
2011年 6/7~14	268	0.92	6-19	16	7
2012年 6/9~16	29	0.10	6-11	10	7
2013年 6/3~10	15	0.10	5-16	16	7
2014年 6/2~9	20	0.11	13-18	15	7
2015年 6/4~12	159	0.97	13-20	16	7
2016年 6/7~13	12	0.08	14-18	15-17	6

(釧路水産試験場 調査研究部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)